



# 浅間の旋風

やる気!元気!!よしあき!!!

発行責任者：山岸喜昭  
〒384-0025 長野県小諸市相生町1-3-7 TEL0267-24-2310 FAX0267-24-2320  
http:genkinokai.sakura.ne.jp E-mail yamagishi\_110105@yahoo.co.jp



## 事務所を相生町に開設しました

■小諸市相生町1-3-7  
■TEL.0267-24-2310  
■FAX.0267-24-2320

お気軽にお立ち寄りください

## 9月定例議会 一般質問



### 自然環境の保全と 「観光立県長野」 再興計画について

9月定例議会では、震災対策、緊急経済活性化対策など84億円の補正予算案など議案審議、可決されました。私は、二度目の一般質問を行いました。その概要をご紹介します。

### 自然環境の保全について

長野県には、国立公園が4、国定公園3、県立自然公園が6地区指定され、その面積は県全体の21%、全国3位の広さを持ちます。年間60万人の利用者があ

る山岳観光は群馬、山梨、静岡、愛知、岐阜、富山の周辺6県とつながり重要な観光資源です。この公園内における標識の管理、表示方法の統一や利用者の利便性に立った情報提供、安全対策など、質問と提案を致しました。

### 「観光立県長野」再興計画について

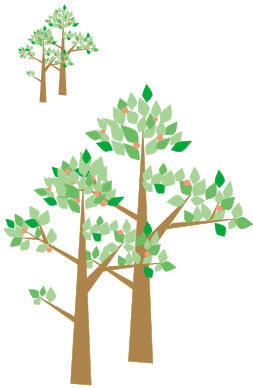
県内観光客数は、平成3年の一億七〇〇万人をピークに減少傾向。平成20年度から5ヶ年計画を展開しています。その中のひとつ、信州ディスプレイション・キャンペーンの経済普及効果と今後の取り組みべき課題、長野スキー発祥百周年の取り組みと進捗状況、そして長期的視野に立った観光施策について質問をしました。

## 信州・森林づくり 応援ネットワークに 登録を!

県では「信州・森林づくり応援ネットワーク」を立ち上げ、森林づくりへ県民の皆さんが参加して頂けるよう、ブログにより情報を提供しています。是非一度ご覧ください。

ブログのアドレス  
<http://mori.nagano-ken.jp>

- ◆ 県内の森林・林業関係イベント情報
- ◆ 森林税活用事業の取り組み
- ◆ 林務部のプレスリリース



土地改良連合会管内視察



高知県四万十市では、災害対策現場の視察から始まり、産材利用促進事業などを視察。十日は、高知県庁にて、日本の健康長寿県構想、南海地震対策を中心にした防災計画、がん対策推進条例について調査視察。特にがん対策条例については総合的に配慮された内容に刺激されました。

### 高知県・徳島県 行政調査視察

11月9日～11日



決算特別委員会千曲川流域下水道現地調査



決算特別委員会、座長を務める

### 委員会 活動より

答弁は観光部長。キャンペーン期間中の観光客数、対前年一〇四、八%、消費額一〇四、四%経済波及効果は一一〇億円余。課題としては、宿泊よりも日帰りの伸びが大きく、地域間で増減にばらつきがあること等があげられました。

スノーリゾート振興策としては、官民体の「スノーリゾート信州プロモーション委員会」を9月に立ち上げ、県内小学生へのリフト優待券配布、レンタル用品店優良認定制度の導入等、準備が進められている。

長期的視野に立った施策は知事より。健康、環境をキーワードにした新しい価値創造、交流施策の推進、ターゲットを明確にした誘客、そして海外に新たなマーケットを求めると重要性について答弁を頂きました。



11月12日  
北信越県議会議員野球大会に選手として参加。  
堀場、桃井両県議を擁する本県は優勝



11月  
東京で開催された東京小諸会に出席



9月3～5日、伊那合同庁舎、長野県庁で今年度の『信州型事業仕分け』が行われました。今後の運営を巡って複数の議員から質問が集中しました。

## 9月定例会 84億7000万円余 補正予算などを可決

九月定例会県議会は、9月21日に開会し、10月7日までの17日間の会期で開催されました。震災への対応、風評被害の払拭と急激な円高への対応のため策定された「長野県緊急経済活性化対策」などを盛り込んだ84億7733万2000円の一般会計補正予算案等の知事提出議案、議員提出議案が可決されました。

**○震災への対応**  
 《長野県北部中部の地震への対応》  
 産物の安全性PR、外国人旅行者の誘客促進など原発事故に伴う風評被害対策。  
 《製造業の海外流出防止等のため、ものづくり産業応援助成金制度を拡充するほか、既決予算を活用し中小企業者の資金繰りを応援。》

**○被災者生活再建支援基金への対応**  
 被災者生活再建支援基金に対する長野県負担金を拠出するとともに、被災者の要請に基づき県内市町村が行った災害救助の経費をまとめて求償して市町村に交付。

**○東日本大震災への対応**  
 《被災者生活再建支援基金への対応》  
 被災者生活再建支援基金に対する長野県負担金を拠出するとともに、被災者の要請に基づき県内市町村が行った災害救助の経費をまとめて求償して市町村に交付。

**○被災者生活再建支援基金への対応**  
 被災者生活再建支援基金に対する長野県負担金を拠出するとともに、被災者の要請に基づき県内市町村が行った災害救助の経費をまとめて求償して市町村に交付。

**○長野県緊急経済活性化対策の実施**  
 《風評被害の払拭と急激な円高への対応》  
 放射能の監視・検査体制の強化や長野県産農畜産物の安全性PR、外国人旅行者の誘客促進など原発事故に伴う風評被害対策。

**○製造業の海外流出防止等のため、ものづくり産業応援助成金制度を拡充するほか、既決予算を活用し中小企業者の資金繰りを応援。**

**○災害時の緊急輸送路や砂防・治山施設の整備など防災・減災対策を進めるとともに、生活に密着した道路や学校施設、文化施設などの維持修繕工事等をきめ細かく実施。**

**○商業施設、公共施設に授乳室やベビールームなど子育てのための設備を充実。**

**○失業者、障がい者、外国籍県民など社会的に弱い立場の方々への支援を充実。**

**○雇用創出基金を活用し、**

**○雇用創出基金を活用し、**

**○雇用創出基金を活用し、**

**○雇用創出基金を活用し、**

**○雇用創出基金を活用し、**

**○雇用創出基金を活用し、**

**○雇用創出基金を活用し、**

## 三重県議会・浜岡原子力発電所を視察 7月12～13日

『議会改革度』全国1位の三重県議会を調査し、議会定例会の招集回数や会期の見直し、広報のあり方やその他運営方法をなど議会改革について活発な意見交換がなされました。全国4位の長野県議会も、先進地の事例を参考に議会改革に積極的に取り組んでいきます。



5月に菅首相(当時)から稼働停止を指示された中部電力浜岡原子力発電所を視察しました。自然エネルギーへの転換という中長期的な課題、3,000人近い職員が働いている喫緊の雇用など重要な問題提起がされました。

## 中信方面現地調査 9月12～13日

安曇野市豊科の県立こども病院、同三郷の松本広域森林組合と松本市笹賀の征矢野建材、塩尻市の井筒ワイン、セイコーエプソンの視察を行いました。

県立こども病院では、各科の医療スタッフや事務の皆さんはもちろん、栄養科、臨床検査科、リハビリテーション科など、病院中のさまざまな職種の小児科領域の専門家集団で一人の患者の治療にあたって



いる態勢がよく分りました。セイコーエプソンでは、最先端の技術開発について懇切丁寧な説明に耳を傾けました。